

## 製造業

- ◇パン…坂東市の組合員が今年度末で脱退することとなった。機械の老朽化、後継者不在がその理由。今後、このような問題が増えてくると考えられるので、組合員全員でよく話し合い、方向性を考えていきたい。
- ◇酒…10月の課税移出数量は前年同月比92.7%と落ち込んだ。特定名称酒（吟醸・純米・本醸造）は前年同月比△0.8%、普通酒は依然として低調で、全国でも同様の傾向にある。焼酎については前年同月比100.5%とほぼ前年並みに回復。全国の10月輸出免税数量は1,345KLで、前年同月比107.2%となった。  
9月10日の関東東北豪雨の被害を受けた常総市の蔵元は、県内の蔵元20社から復旧作業支援を受けながら、新酒の仕込みを始めた。12月下旬に初出荷を見込んでいる。10月1日に開催した「全国一斉日本酒で乾杯」イベント以降、日立市と常陸太田市で乾杯条例が施行された。これにより、当県で乾杯条例を施行している自治体は6つとなった。平成27年度関東信越国税局清酒鑑評会において、吟醸酒の部、純米酒の部それぞれで9社が入賞した。県清酒鑑評会においても11社が受賞した。
- ◇納豆…土産用納豆に使用する藁が不足。原因は、飼料用米の作付が推奨され、1反あたりの収益が上昇し、藁をつくる農家が減少したため。藁の買取価格を上げて、農家に継続してつくってもらう以外に手だてがない。藁の不足が続けば、商品の値上げに踏み切るしかない。
- ◇菓子…週末に雨の日が多く、下旬の三連休はまずまずの売上げだったが、第一週、第二週の落ち込みをカバーできなかった。12月に向けての受注は増加してきている。
- ◇繊維製品(袋物)…ほぼ前年並み。
- ◇木材…製品の荷動きは、プレカット工場を中心に回復傾向がみられた。特に、ハウスメーカー向けのプレカット工場は、秋需要があり稼働率が上昇した。一方、地方工務店は増改築工事が主体で、まともに荷動きがなく、盛り上がり欠ける市況だった。
- ◇プレカット…目標の85%程度加工することができた。乾燥材、合板の再値上げはない様子。
- ◇段ボール…常総市の水害により、1社がほぼ休眠状

態。社員はほとんど退職。建屋は残っているが、設備がなく生産が出来ない様子。売上は前年同月と同程度。原材料価格の上昇により、収益が悪化。

- ◇プラスチック製品…新規取引の声がかかってきているところがあるが、単価が低く受注できない様子。
- ◇焼物…特に変化なし。12月に向けて弾みをつけていきたい。
- ◇鍍金…仕事量は前年比1割程度減少。部門別にみると、自動車部品、電子部品、精密機械部品は1割程度の減少だが、建設機械は3割から5割減少。金属材料は値下がりしたが、工業薬品価格については大きな変動はなし。
- ◇電化機器…当月の生産高は、対前年同月比△6.4%の661百万円。依然として苦境が続いている。
- ◇自動車部品…生産高は漸減傾向で、先行きが不透明である。
- ◇工業団地(農機部品)…主得意先の上期国内向け増産計画が終了。輸出向け受注についても、海外在庫圧縮の影響で減少に転じた。団地全体の対前年同月売上は減少。雇用面では、2月、3月の受注を見込んで、臨時社員が増加。

## 非製造業

- ◇水産卸…精算所取扱高は、対前年同月比2.28%増加。11月7日に「みとっぼ わくわく感謝市」を開催。市場内の業者が協力して、マグロの解体ショーや模擬競りなどを行い、卸売市場のアピールに努めた。
- ◇食品卸売…全体の取扱高はほぼ前年並み。野菜に関しては、10月の好天で生育遅れが回復。品薄感が解消し、単価が前年並みに落ち着いてきた。果実に関しては、曇雨天の影響で、数量減・単価高で推移。12月も同じ状況が続く見込みで、年末の贈答品需要にどのような影響を与えるかが懸念される。
- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数量は前年同月比12%の減少。
- ◇家電…暖冬の影響で売上は対前年同月比でマイナス。12月も暖冬が続くと厳しい。白物家電、AV機器の売上不振を年末商戦で挽回したい。
- ◇県北地区共同店舗…県北各地でイベントが開催され、そこで浪費した影響が普段の買い物では節約

志向が強く、売上・客数ともに大幅減。

◇**県央地区共同店舗**…核店舗の改装により客数は増加傾向。しかし、暖冬の影響で売上が伸び悩んでいる。

◇**県南地区共同店舗**…サービス部門では、数店舗で前年同月比プラスを達成。衣料品部門は、天候不順の影響が大苦戦。全体で見ると客数の減少に歯止めがかからない。

◇**中古自動車**…景況は良くない。オークションへの出品台数も減少。成約率は上昇しているが、単価は低い。

◇**石油**…ガソリンの販売価格は前年同月比で28円下落した。依然として、元売子会社や大手業者による仕入れ価格を下回るような価格での安値販売競争が県内全域で行われているため、経営環境は厳しい。

◇**商店街(下妻)**…暖冬の影響で冬物衣料が伸び悩んだ。原価が上昇しているため収益が悪化。

◇**ホテル旅館**…地域間で差はあるものの、全体的に売上が増加。宿泊価格をイベント等に合わせた変更しているが、稼働率は上昇。

11月中旬にひたちなか市で開催されたバレーボール大会の観戦者らが、水戸市に宿泊できず、公共交通機関の利用しやすさや国道245号沿いという利便性の良さで日立市を選んだため、日立エリアでは特に売上が増加。

北茨城エリアは、稼働率・売上の回復に時間がかかる見込み。

◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車98.4%と減少、軽自動車は105.9%と増加。

◇**総合建設**…小規模土木工事の発注が一度に行われた。そのため、過度な競争やダンピングはなく、各社が受注を確保できた。11月、12月に発注が多くなることは例年通り。発注の均等化は今年も行われなかった。

◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は横ばいだが、売上高が減少。燃料価格は下落傾向だが不安定。経営は依然厳しい。

◇**県北地区運輸**…冬物への入れ替えのため、衣料品・雑貨・家電など全体的な荷動きが盛んになってきた。特に、スタッドレスタイヤの荷動きが盛んになっている。住宅メーカー、建築関係は平年並み。燃料価格は落ち着いてきたが収益は変わらず。

H27.11月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 16.7	☁	▲ 16.7	☁
その他業		▲ 30.0	☂	▲ 40.0	☂
卸売業		25.0	☁	▲ 25.0	☁
小売業(商店街を含む)		▲ 72.7	☂	▲ 54.5	☂
サービス業		50.0	☀	50.0	☀
建設業		▲ 20.0	☁	▲ 40.0	☂
運輸業		0.0	☁	▲ 50.0	☂
全体		▲ 28.0		▲ 36.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

☀	☁	☁	☁	☂
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.1値



エコアクション21

エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取り組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『**環境NPOいばらき**』とは、

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
  2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
  3. エコアクション21審査人の育成教育
- ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

\*連絡先: 所在地: 〒302-0102 守谷市松前1-8-8 代表者: 飛田 秀幸  
 TEL: 0297-48-1290 FAX: 0297-48-1290 Email: hishii@plum.plala.or.jp  
 HP: <http://www.kankyounpo-ibaraki.com> 何なりとお気軽にご一報ください。お待ちしております。